

平成30年9月27日

## 戊辰から明治を生きた福島の人々に思いをはせる

シンポジウム「戊辰から福島の近代を考える」

演劇公演「絹が鳴る—西信戊辰明治譚—」 開催

平成30年は戊辰戦争から150年の節目を迎えます。本市では、戊辰戦争の背景は何であったのか、福島に生きる人はどう立ち向かったのかをたどるため、幕末維新史をテーマとした事業を展開しています。11月は二つの事業を開催し、戊辰戦争から明治へと続く本市の姿を市内外に発信します。

## 1. シンポジウム「戊辰から福島の近代を考える」

- (1) 日時：平成30年11月9日（金）午後2時から（午後4時30分終了予定）
- (2) 場所：福島市子どもの夢を育む施設  
こむこむわいわいホール（福島市早稲町1-1）
- (3) 入場料：無料
- (4) 定員：270人
- (5) 入場券の申し込み：10月19日（金）までに往復はがきで市文化課へ  
※申し込み多数の場合抽選。
- (6) 開催内容：①基調講演 「幕末戊辰戦争と福島」 作家 星亮一氏  
②シンポジウム  
「幕末から明治へ～福島藩の決断と戊辰戦争後の福島～」  
星亮一氏  
板倉敏和氏（板倉家当主）、  
山田英明氏（公益財団法人福島県文化振興財団専門学芸員）  
福島市長
- (7) 主催：福島市教育委員会

## 2. 演劇公演「絹が鳴る—西信戊辰明治譚—」

- (1) 日時：平成30年11月4日（日） 午前の回 午前10時30分  
午後の回 午後2時
- (2) 場所：福島市民家園内 旧広瀬座
- (3) 入場料：500円（チケット前売・中学生以下無料）
- (4) 定員：各回250人
- (5) チケット販売：民家園、あづま総合体育館、西学習センター、西支所、文化課
- (6) 開催内容：「劇団1200EN」（福島市）による演劇の公演。  
蚕を飼うだけが取り柄の娘など、荒井の山中に集まった身分や藩の  
違う七人をとおして、幕末から明治の福島の姿を描きます。
- (7) 主催：西地区ふるさとの歴史再発見事業実行委員会

担当：文化課 文化財係  
課長 中村鉄也、係長 梅津 司  
電話 024-525-3785（直通）